

- 問1 中大兄皇子が中臣鎌足らとともに蘇我氏を倒し、天皇を中心とする国づくりを目指して始めた一連の政治改革において、目指すべき国家像を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 鉄製の農具や武具を独占した「ワカタケル」のような強力な大王が各地の豪族を力で従える軍事国家 | 2. 土地と人民は国家（天皇）が所有・管理するという「公地公民」の原則に基づく中央集権国家 | 3. 仏教の力を政治に利用するため、全国に国分寺を建立し、僧侶を官吏として登用する宗教国家 | 4. 地方の有力な武士団に土地の支配権を認め、朝廷はその仲裁役としてのみ機能する封建国家 |
|--|---|---|--|
- 問2 663年に、日本（倭）が百済の復興を支援するために朝鮮半島へ出兵した際、唐と新羅の連合軍と戦って大敗した出来事を何とといいますか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|-----------|
| 1. 壬申の乱 | 2. 刀伊の入寇 | 3. 文永の役 | 4. 白村江の戦い |
|---------|----------|---------|-----------|
- 問3 聖徳太子が法隆寺を建立した背景には、仏教を政治の柱とする目的がありました。この時期、聖徳太子が天皇を中心とする国づくりを進めるために行った政策として適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 諸大名の勢力を統制するため、参勤交代を義務付ける武家諸法度を制定した。 | 2. 全国の戸籍を作成し、農民に口分田を割り当てる班田収授法を施行した。 | 3. 有力な御家人の力を抑えるため、御成敗式目を定めて裁判の基準を示した。 | 4. 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に登用する冠位十二階を定めた。 |
|--|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問4 十七条の憲法の第一条には「和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗（むね）とせよ」とあり、また第三条には「天皇の命令を受けたならば、必ずつつしんで従いなさい」という趣旨の内容が記されています。このように、この法が道徳的な教えを通じて役人の心得を説いた主な目的は何ですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。 | 2. 仏教を国の宗教として強制し、大きな寺院を建立するための労働力を確保するため。 | 3. 土地や人民はすべて国家のものであるという「公地公民」の原則を、民衆に徹底させるため。 | 4. 唐や新羅などの外国からの侵略に備えるため、武士の団結を強めて軍事力を高めるため。 |
|--|---|---|---|
- 問5 7世紀の日本が遣隋使の派遣や大化の改新を経て、急速に律令制度を導入し、中央集権体制を確立しようとした背景について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元の襲来（元寇）を受けた経験から、九州沿岸の警備を強化するために中央から地方へ命令を伝える仕組みを整えたため。 | 2. 建武の新政において、公家と武士の双方を納得させるための新しい裁判基準を定める必要があったため。 | 3. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことで、対外的な脅威に対抗できる強力な国家体制を築く必要があったため。 | 4. 承久の乱によって朝廷の権威が失墜したため、天皇の力を再び強めるための新しい法律が必要になったため。 |
|--|--|---|--|
- 問6 7世紀当時の朝鮮半島と日本との関係について述べた次の文のうち、内容が正しいもの一つを選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。 | 2. 朝鮮半島の北部に位置する高句麗を救援するため、日本は新羅と結んで唐の軍勢を白村江で迎え撃ったが敗れた。 | 3. 朝鮮半島の南東部に位置する新羅からの要請に応じ、日本は加羅の地域を統治するために大軍を送ったが、元寇と呼ばれる事変で敗れた。 | 4. 唐と結んだ百済が日本へ侵攻してきたため、日本は新羅と協力して白村江でこれを防ぎ、国内の律令体制を強化した。 |
|--|--|---|--|
- 問7 7世紀、日本では中大兄皇子らが政治改革を進める一方で、朝鮮半島の情勢変化に対応した外交が行われました。唐によって滅ぼされた友好国の復興を支援するために倭（日本）が朝鮮半島へ大軍を派遣した出来事について、その目的と対戦相手の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 百済の復興を支援するため、元（モンゴル）の軍隊と戦った | 2. 高句麗の復興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った | 3. 百済の復興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った | 4. 新羅の領土拡大を阻止するため、唐の軍隊と単独で戦った |
|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
- 問8 中大兄皇子とともに政治改革を主導し、後にその功績を称えられて「藤原」という姓を授かり、平安時代の摂関政治へとつながる一族の祖となった人物は誰ですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 北条時政 | 3. 中臣鎌足 | 4. 小野妹子 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 中大兄皇子（天智天皇）らが、有力豪族であった蘇我氏を打倒して開始した「大化の改新」と呼ばれる政治改革の主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること | 2. 武士の力を結集し、地方の反乱を抑えること | 3. 大陸との交易を制限し、独自の文化を育てること | 4. 仏教の力を借りて、国家の混乱を鎮めること |
|-----------------------------|-------------------------|---------------------------|-------------------------|
- 問10 天武天皇が行った国家建設の取り組みにおいて、律令に基づいた政治を支えるために、全ての土地と人民を国家のものとする考え方を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|---------|---------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 版籍奉還 | 3. 地租改正 | 4. 公地公民 |
|------------|---------|---------|---------|
- 問11 飛鳥時代における歴史的事項を記した年表において、672年に「壬申の乱」が起こったとの記載があります。この乱に勝利し、その後に即位して天皇中心の中央集権体制をさらに進めた人物は誰ですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 推古天皇 | 2. 天智天皇 | 3. 天武天皇 | 4. 後三条天皇 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問12 7世紀後半、大和政権が唐や新羅からの侵攻に備えて、主に東国から徴兵した兵士を九州北部の警備にあてた制度を何と呼びますか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 健児 | 2. 足輕 | 3. 防人 | 4. 衛士 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問13 7世紀初めに聖徳太子によって建立された寺院であり、世界最古の木造建築物群を有することで知られ、金堂には飛鳥文化を代表する釈迦三尊像が安置されている寺院はどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 東大寺 | 2. 法隆寺 | 3. 薬師寺 | 4. 唐招提寺 |
|--------|--------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 土地と人民は国家（天皇）が所有・管理するという「公地公民」の原則に基づく中央集権国家	大化の改新から始まる一連の改革は、それまで有力豪族が私有していた土地や人民を国家のものとする「公地公民」を理想としました。これは、特定の豪族に権力が集中するのを防ぎ、天皇を中心とした組織的な国家を建設することが目的でした。
問2	答え 4 白村江の戦い	660年に滅亡した百済から救済を求められた中大兄皇子は、百済復興のために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、唐と新羅の連合軍に大敗を喫しました。この敗戦の結果、日本は朝鮮半島の権益を失い、国内の防衛体制を急いで整える必要に迫られました。
問3	答え 4 家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に登用する冠位十二階を定めた。	聖徳太子は推古天皇の摂政として、仏教の精神を重んじながら天皇中心の政治体制を整えようとしてしました。冠位十二階によって氏姓制度に縛られない人材登用を行い、十七条の憲法によって役人の心得を説くなど、法隆寺の建立と並行して中央集権的な国家の基盤づくりを進めました。
問4	答え 1 有力な豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。	当時の日本は、有力な豪族がそれぞれ勢力を持ち、互いに争うことも少なくありませんでした。聖徳太子は、国家を一つの組織としてまとめるために、役人が守るべき道徳規範を示す必要があると考えました。豪族たちが「和」を重んじて対立を避け、最高権威である天皇に従うという秩序を作ること、天皇を頂点とする組織的な統治（中央集権化）を推し進めようとしたのがこの法の背景です。
問5	答え 3 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことで、対外的な脅威に対抗できる強力な国家体制を築く必要があったため。	663年の白村江の戦いでの大敗は、日本に唐などの強大な勢力による侵攻の危機感を与えました。これに対抗するため、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」を原則とする律令体制を整え、国力を結集できる仕組みを急いで作る必要があったのです。
問6	答え 1 朝鮮半島の南西部に位置し、日本と親交のあった百済が滅ぼされたため、日本は復興を助けるために軍を出したが白村江で敗れた。	当時の朝鮮半島では、唐と結んだ新羅が勢力を伸ばしており、660年に南西部の百済を滅ぼしました。日本は百済の復興を支援するために戦いましたが、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れ、朝鮮半島からの撤退を余儀なくされました。この国際的な危機感から、日本では天智天皇を中心に中央集権的な国家づくりが加速しました。
問7	答え 3 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされると、倭（日本）は友好国であった百済の遺臣から救援を求められました。中大兄皇子は百済を再興させるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、663年に白村江（はくすきのえ）で唐・新羅の連合軍と衝突し、倭の水軍は壊滅的な打撃を受けて大敗しました。この敗北は、その後の日本の国内体制の整備や防衛強化に大きな影響を与えました。
問8	答え 3 中臣鎌足	中臣鎌足は、中大兄皇子の知恵袋として蘇我氏打倒の計画から改革の実行まで重要な役割を果たしました。死の間際に、これまでの功績によって「藤原」の姓を贈られ、その子孫である藤原氏は後の日本政治において大きな影響力を持つこととなります。
問9	答え 1 天皇を中心とした、新しい国家のしくみをつくること	蘇我氏のような特定の豪族が政治の実権を握る状況を打破し、土地や人民を国家（天皇）のものとする公地公民の制などを導入しようとしてしました。これは、当時の中国の律令制度を模範とした中央集権的な国家体制の構築を目指したものです。
問10	答え 4 公地公民	天武天皇から持統天皇の時代にかけて整備された律令国家の根本原則です。それまで豪族が私有していた土地や人民を国家の管理下に置き、戸籍に基づいて人々に田を与える「班田収授法」などを行うための基盤となりました。
問11	答え 3 天武天皇	672年に起こった壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟の大海人皇子と、子の大友皇子が皇位をめぐる対立した古代最大の内乱です。この戦いに勝利した大海人皇子が天武天皇として即位しました。天武天皇は、飛鳥浄御原令の編纂に着手したり、国史（古事記・日本書紀）の編纂を命じたりするなど、天皇の権力を絶対的なものにするための政策を次々と打ち出しました。
問12	答え 3 防人	白村江の戦いでの敗北を受けて整備された防衛体制の一環として、九州の防備を担ったのが「防人」です。主に東国の農民が徴兵され、3年間の任期で九州へと送られました。この防人たちの故郷を思う心情などを詠んだ歌は「防人歌」として万葉集にも数多く収められています。
問13	答え 2 法隆寺	聖徳太子（厩戸王）は推古天皇の摂政として、仏教を政治に取り入れることで国家の安定を図りました。その一環として建立されたのが法隆寺です。ここには止利仏師による釈迦三尊像など、当時の高度な金属加工技術や仏教信仰の広がりを示す貴重な文化財が数多く残されています。